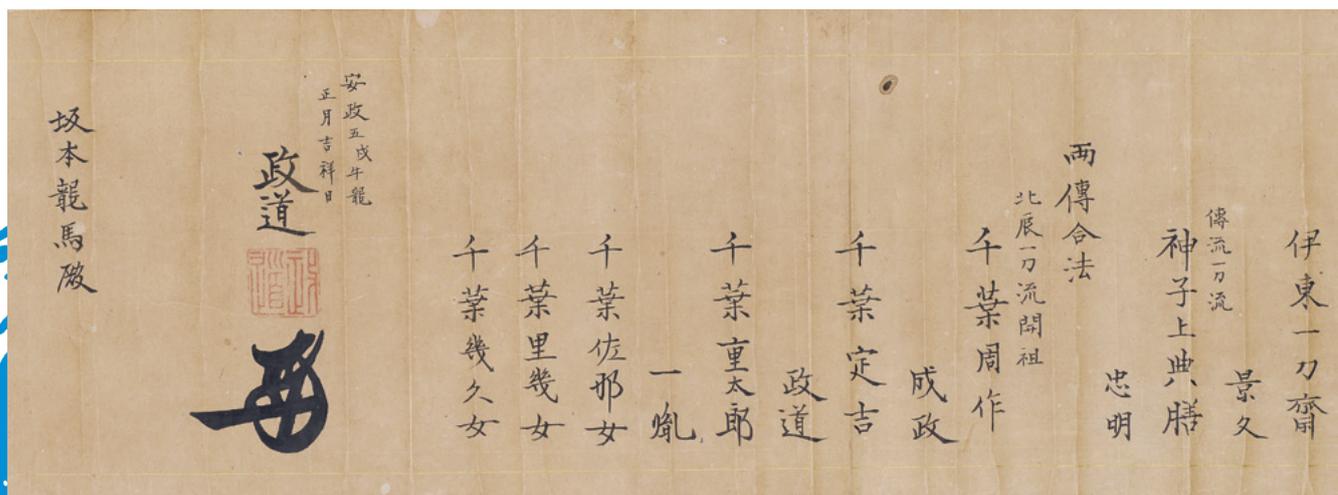


150th Year Commemorative Special Exhibition

特別展 没後150年

坂本龍馬

Sakamoto Ryōma : Japan's Favorite Hero



企画展

戦時下東京のこどもたち

特別展 (1階 特別展示室)

- ～4/9
「江戸と北京 —18世紀の都市とくらし—」
- 4/29～6/18
「没後150年 坂本龍馬」(→P.3～4)
- 7/4～8/6
2017年 NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展
「戦国! 井伊直虎から直政へ」(→P.4)

企画展 (常設展示室内 5F企画展示室)

- 3/7～5/7
「戦時下東京の子どもたち」(→P.5)
- 6/3～7/23
「発掘された日本列島 2017」(仮称)
- 8/11～9/24
「徳川宗家」(仮称)

休館日

4月	5月	6月	7月	8月	9月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

お知らせ

当館は10月1日(日)から2018年(平成30)3月31日(土)まで、設備改修工事のため全館休館を予定しています(一部施設は9月から休室となります)。休館中における当館の活動予定、および各施設の再開につきましては、ホームページ (<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>) でご確認ください。



※全館休館中、3階江戸東京ひろばは使用不可です。

新年度のご挨拶



館長 藤森 照信

竹内誠前館長からバトンタッチされてから早や半年以上が過ぎ、館の全体がおぼろげながらやっと内側から分かってきました。そもそも歴史系の博物館自体が美術館にくらべ数が少ないうえ、首都東京を扱う館は当館以外になく、重要性和貴重性は大きいと思います。

昨年、新たに展示ガイドボランティアを募集したところ、予想以上に多くの人たちに応募していただき、ボランティア体制は一気に充実しました。何年か前、京都の南禅寺金地院で庭と建築と絵についてガイドさんの解説を受けたことがあり、現物を前にしての口頭説明の重要さと面白さに目覚めました。専門家にとっても聞いて面白い解説というものがあつたのです。

博物館の展示資料は、それ自体は無口です。文章での説明は特別展や企画展でなにかぎり、あまり読んでももらえせん。せいぜいタイトルと年代をチェックするくらい。文章にくらべ口頭説明は見る人を惹きつけ、展示資料と見る人を結ぶ力を発揮します。それをするのが展示ガイドボランティアということになるのですが、決して

簡単ではないと思います。幸い当館は長く厚いボランティアの蓄積を持ちますから、その伝統が新しく加わったメンバーにも伝えられ、「ボランティアといえは江戸博」と評される日が来ることを願わずにはおれません。



常設展示室における展示解説ボランティアの活動

坂本龍馬

Sakamoto Ryōma : Japan's Favorite Hero

展示構成

- 一章 龍馬の生まれ育った時代
- 二章 土佐脱藩と海軍修行
- 三章 龍馬の手紙を読む
- 四章 龍馬の遺品
- 五章 薩長同盟から大政奉還 —そして龍馬の死後—
- 六章 瓦版・錦絵からみた幕末維新
- 七章 美術工芸からみた幕末維新 —近世絵画・刀・甲冑—

●会期中に展示替えがあります。



坂本龍馬は天保6年(1835)に土佐で生まれ、慶応3年(1867)に京都で亡くなりました。その間、浪士の立場ながら薩長同盟を仲介し、大政奉還を推進するなど、近代日本の創設に尽力しました。龍馬が亡くなったからおよそ150年。これを機会に改めて龍馬の人間的魅力を伝える展覧会を開催します。

本展では、龍馬の自由奔放な生き様や家族への愛情をあらわした直筆の手紙を中心に、その魅力をわかりやすく紹介します。また、龍馬が暗殺された際に携えていた愛刀「吉行」などの遺品や関連資料を合わせて展示し、龍馬が活躍した幕末という時代に迫ります。



いちばん有名な立ち姿のガラス湿板写真

坂本龍馬湿板写真
慶応2年または3年
高知県立歴史民俗資料館蔵
【展示期間:4月29日～5月1日】
※3日間の限定公開です。
上記期間以外には複製を展示します。

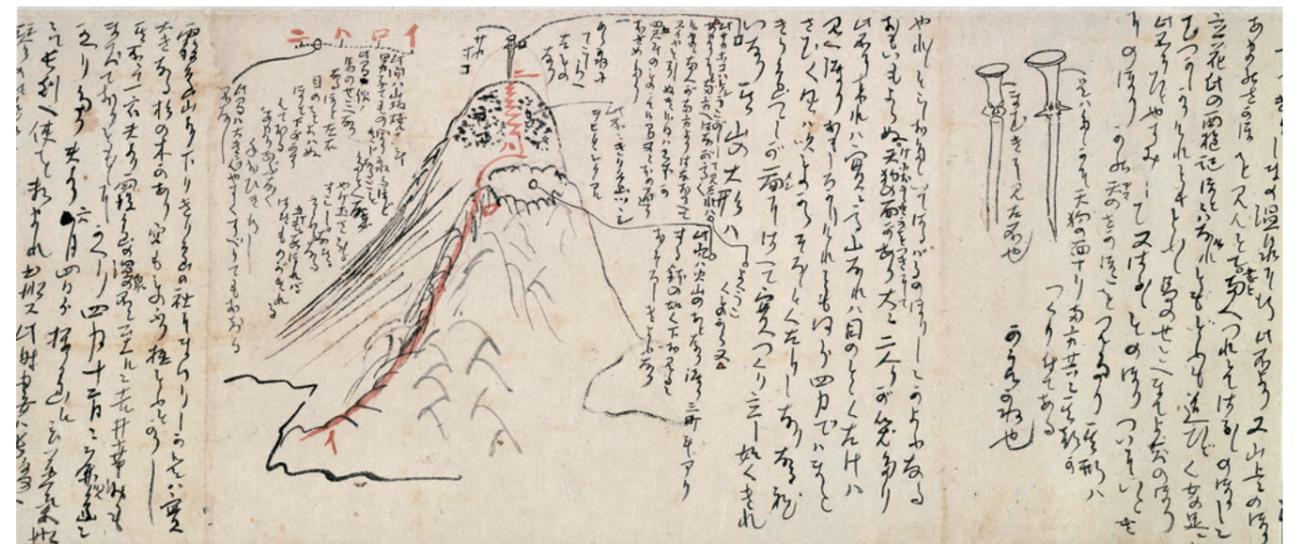
現代においてこれほどまでに坂本龍馬の人気がある最大の理由は、彼が書き残した手紙の内容がとても面白いからに他なりません。今回の展覧会ではできるだけ多くの直筆の手紙を展示し、その内容をわかりやすく展示します。

ユーモアあふれる手紙を読めば、龍馬の思考の柔軟さや家族への愛情などを直接感じることができるようでしょう。



妻おりょうとの新婚旅行を文字と絵で描写

重要文化財 龍馬書簡
慶応二年十二月四日 坂本乙女宛(部分)
京都国立博物館蔵
【展示期間:5月23日～6月4日】



見どころ ②

ここ10年間に新たにわかってきた関係資料を展示します。

この21世紀の現代においても龍馬に関する新資料が少しずつ見つかっています。これは坂本龍馬が歴史上で人気があるために資料の掘り出しも盛んであるためです。例えば近年新たに、札幌の坂本家資料から坂本家のご子孫が記録した文書が見つかり、刀を含む様々な龍馬遺品の伝世経緯がわかってきました。このような最新の研究成果もご覧いただけます。



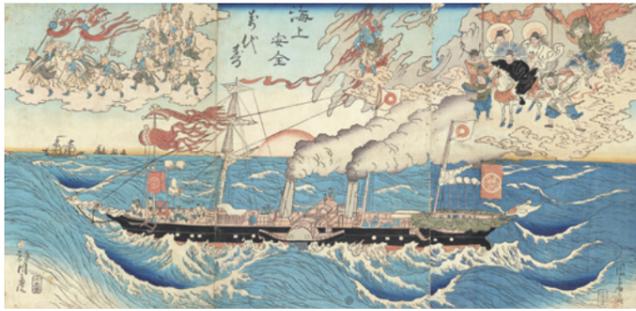
これが龍馬の愛用した刀

刀 銘吉行
坂本龍馬佩用
江戸時代(17～18世紀)
京都国立博物館蔵

見どころ ③

幕末史をビジュアル面からわかりやすく展示します。

坂本龍馬が生まれ活躍した時代。日本は世界に開かれつつありました。今回の展覧会では、当時の瓦版や、明治初期の錦絵、幕末の騒乱を描いた絵巻物など、龍馬が活動



龍馬も乗った幕府軍艦「順動丸」

海上安全万代寿
河鍋曉斎/画
文久3年(1863)
香川・琴平海洋博物館蔵



幕府洋式船の実態を今に伝える貴重な資料

幕府軍艦 第二長崎丸関係資料
砂時計 法螺貝 遠眼鏡
双眼鏡 パロメーター
江戸時代末期(19世紀) 当館蔵



見どころ ①

龍馬の手紙に焦点をあてて、その面白さをわかりやすく展示します。

information

特別展「没後150年 坂本龍馬」

会期 | 4月29日(土・祝)～6月18日(日) 休館日 | 毎週月曜日(ただし、5月1日、5月15日は開館)
開館時間 | 9:30～17:30(土曜日は19:30まで) ※入館は閉館の30分前まで。

観覧料(税込)	特別展専用券	特別展・常設展共通券	特別展前売券
一般	1,350円(1,080円)	1,560円(1,240円)	1,140円
大学生・専門学校生	1,080円(860円)	1,240円(990円)	870円
中学生(都外)・高校生・65歳以上	680円(540円)	780円(620円)	470円
小学生・中学生(都内)	680円(540円)	なし	470円

※()内は20名以上の団体料金。※次の場合は観覧料が無料です。未就学児童。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方、その付き添いの方(2名まで)。※小学生と都内在住・在学の中学生は、常設展観覧料が無料のため、共通券はありません。※前売券は4月28日(金)まで販売。

◎チケット販売場所: 江戸東京博物館、チケットぴあ、ローソンチケットなど主要プレイガイド。
※手数料がかかる場合があります。 ※特別展・常設展共通券の販売は、江戸東京博物館のみです。

主催 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社

特別協力 | 京都国立博物館 協賛 | 野崎印刷紙業

えどはくカルチャー特別展関連講座

- ① 坂本龍馬の手紙を読み解く — 女性への手紙 —
宮川 禎一(京都国立博物館 学芸部 上席研究員) 5月19日(金)
- ② 坂本龍馬と長崎
岡本 健一郎(長崎歴史文化博物館 主任研究員) 6月2日(金)
- ③ 坂本龍馬と江戸 田原 昇(学芸員) 6月16日(金)

※時間はいずれも14:00～15:30
※往復はがきによる事前申込制となります。応募方法や受講料など詳細は、江戸東京博物館ホームページ、および館内配布のチラシなどでご確認ください。
<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

次回特別展予告

2017年NHK大河ドラマ
「おんな城主 直虎」特別展
「戦国! 井伊直虎から直政へ」
7月4日(火)～8月6日(日)

今年のNHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」と連動した展覧会です。本展では、直虎の生涯を軸に、今川氏や武田氏など周辺の戦国大名を通して、遠江国井伊谷に本拠を置いた井伊氏を浮き彫りにします。また、直虎が養育し、のちに徳川四天王の一人として数えられた直政について、彦根藩創設にいたる道程を井伊家伝来の作品とともに展示します。



青葉の笛 寺野六所神社蔵

戦時下東京の子どもたち

3月7日(火)～5月7日(日)

72年前の1945年(昭和20)3月10日未明、東京の下町は火の海となりました。米軍による325機のB29による大空襲は2時間余で約1700トンの焼夷弾を下町地域に投下し、推定10万人以上の市民が犠牲となりました。

1941年(昭和16)12月、日本は英米との間で戦争状態に突入しました。翌年4月18日の米軍による初空襲により、東京も荒川区、牛込区(現在の新宿区の一部)などが被弾して中学生ほか39名が犠牲となりました。その後、戦争が長引くにつれて日本は劣勢となり、空襲の危機が迫りました。

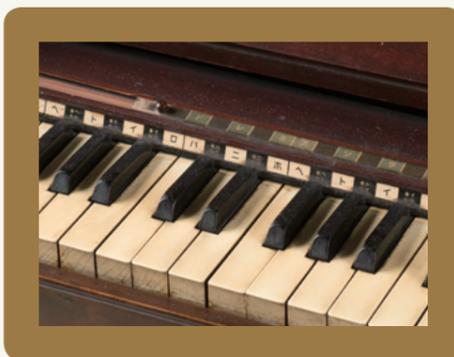
1944年(昭和19)7月のサイパン陥落後、8月から9月にかけて都内の国民学校3年生から6年生23万人の学童が三多摩のほか14県へ集団疎開しました。翌年3月の大空襲後は疎開地移転の再疎開、低学年対象の二次疎開も行われました。

一方、中学校や高等女学校の生徒は、

学校や工場で、あるいは近隣、遠隔地に動員されて、飛行機の部品製造や風船爆弾の気球製造など軍需産業の勤労奉仕に明け暮れました。東京は1944年11月から翌年8月まで、多摩、島嶼部合わせて122回にわたる空襲を受け、市民の生活圏が戦場となりました。

戦後70年あまりを過ぎた現在、当時の暮らしが語り継がれる機会も少なくなってきました。そこで、今回の展示では、当時の子どもたちの言葉や体験から戦時下東京の暮らしを振り返ります。本展で取り上げる1929年(昭和4)から1934年(昭和9)に生まれた10人の子どもたちは、12歳から7歳で開戦を迎え、それぞれの体験を通じて成長していきました。彼らの体験談やゆかりの品々の展示を通じ、平和の尊さを考える場としたいと思います。

(学芸員 松井かおる)



ハニホヘト鍵盤オルガン 資料番号:04002460



私達の生活(集団疎開絵画) 資料番号:91011515

TOPICS

新しい常設展示図録・子供向けガイドブックのご案内

「常設展示総合図録」のシリーズ本となる「常設展示図録「模型編」 模型でみる江戸東京」「常設展示図録「図表編」 図表でみる江戸東京」、そして「常設展示総合図録」の英語版を刊行します。

「模型でみる江戸東京」は常設展示の模型を解説し、「図表でみる江戸東京」は展示室内の解説パネルを掲載しています。「常設展示総合図録」と合わせることで、より深く

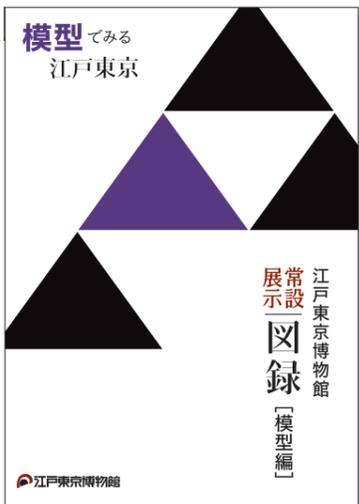
常設展示について理解していただける内容となっております。もちろんそれぞれ独立した資料集としてもお使いいただけます。

3冊の表紙は、江戸時代に親しまれた鱗、格子、縞の文様をモチーフにして、当館の常設展示を表現しています。

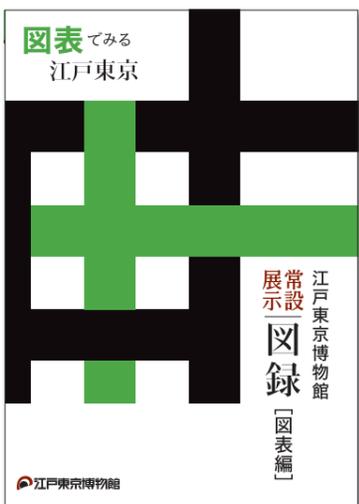
そして、子供向けガイドブックも内容を一新して、「探検! 体験!! 江戸東京博物館」として刊行します。常設展示の見どころは

もちろん、学芸員の仕事や休館日の展示室など、日頃なかなか知ることのできない博物館の活動もたくさん紹介しています。子供から大人まで、江戸東京博物館をより身近に感じていただける内容となっております。

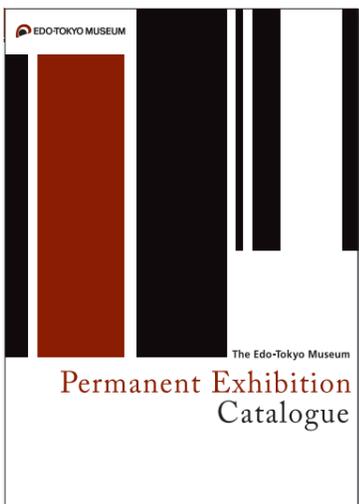
これらの図録は1階・5階のミュージアムショップで4月から販売予定の他、7階図書室にも配架いたします。ぜひお手にとってください。



「模型でみる江戸東京」



「図表でみる江戸東京」



「常設展示総合図録」英語版

● 価格についてはホームページ(<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>)またはミュージアムショップにお問い合わせください。

新収蔵品のご紹介

平成28年度も、みなさまのご協力によって、多くの博物館資料を収集することができました。その一部をここに紹介いたします。

※各資料の解説は、粟屋朋子、落合則子、西村直子、畑尚子が担当しました。

1. 喜多川歌麿 美人大首絵の傑作

「歌撰恋之部」は、喜多川歌麿が、紅雲母摺りの背景に女性の顔を大きく描いた、五枚揃いの大判錦絵です。1793年(寛政5)頃、歌麿の画業がもっとも充実した時期の作品で、版元は高屋重三郎です。「歌仙」と「歌を撰ぶ」とをかけて「歌撰」ともじり、歌集の部立「恋」-部を下に付け、表題としています。女性の表情や姿態に微妙な心の翳



1. 「歌撰恋之部 物思恋」
1793年(寛政5)頃
資料番号:16200003

が表出し、それぞれの恋が描き分けられています。この「物思恋」では、眉を剃り落とした既婚と思われる女性が、遠くに視線を投げかけています。過ぎ去った恋を思い出しているのでしょうか。指の描写も、物思いにひたる様を表現しているようです。本作はシリーズ随一の傑作とされ、国内での所蔵が極めて少ない稀少価値の高い作品です。

2. 江戸城の用材を 使った神札

寄贈者の先祖は、幕府の建築を担う作事方(下役人)を務めていました。この神札の裏面には、由来が書かれています。それによると、1820年(文政3)に江戸城本丸の將軍御座所を修復した時、長押に使われた材木の切れ端だといえます。江戸城は何度も火災で焼け、今はほとんど残っていません。江戸城に使われた



2. 嬉森稲荷大明神神札(表)(裏)
1820年(文政3) 資料番号:16000414

3. 我が子の健やかな 成長を祝い、願う衣装

袴は、江戸時代まで武士の間の礼服、公服として用いられたが、この袴は、5歳になる少年の祝いの儀礼、袴着用と考えられる衣装です。袴着の祝いでは、11月に袴を着け、神社に詣でましたが、もともと公家や武家の間で行われていた儀式です。江戸時代になると町人層にも広まり、七五三のルーツともなりました。

仕立ては、大人用と同様単衣の麻製で、肩衣には形が崩れないよう、鯨のひげが芯として袖の部分に入り、肩をピンと張らせてあります。模様は松皮菱の小紋で、家紋(丸に組み直達)が背と両前に付いています。医療技術などが十分に発達していなかった当時、我が子の健やかな成長を祝い、願う気持ちが込められたのではないのでしょうか。



3. 袴(子供用) 肩衣・袴
江戸時代後期
資料番号:16200044・16200045

4. 篤姫を語る新資料！ 篤姫づき中臈の父の記録

本資料は、仙波市左衛門永賢の日記3冊・道中日記3冊、仙波家由緒書など2冊からなります。市左衛門は薩摩藩士で藩主の側近などの役職を歴任、その娘さかほは篤姫(天璋院)つぎの中臈となり、江戸城大奥へ上がり、篤姫の最期まで仕えました。

出され篤姫づきとなる過程が記されていて、貴重です。特筆すべきは、篤姫が今和泉家で「おいち」という名で呼ばれていたことや、市左衛門が鹿児島で篤姫の婚礼用衣装を調達したことなど、他の文献では知ることができなかった情報が記載されていることです。また、島津家と徳川將軍家との関係、江戸定府の務めなども知ることができます。



4. 薩摩藩士仙波家文書
江戸時代末期
資料番号:16200087~16200092

5. 江戸東京たてももの園 復元建造物・会水庵 ゆかりの茶道具

会水庵は宗徧流の茶人山岸会水(聴雪)(1866年(慶応2)~1954年(昭和29))が建てた茶室で、1998年(平成10)より江戸東京たてももの園で公開されています。

会水は吉祥寺の自宅に窯を設け茶碗・花入・香炉などを作り、聴雪という名で茶掛の絵を描きました。



5. 茶杓 銘尉
桜間左陣/作
1915年(大正4)
資料番号:16000367



5. 木守柿図
聴雪(山岸会水)/画
1939年(昭和14)
資料番号:16000378

江戸の豪商、笹屋山中家歴代の肖像画

都市歴史研究室 学芸員
朴美姫・文

歴

史上の人物の容姿を描いた肖像画は、現代の私たちにとってその人物をイメージする上で欠かせないものとなっている。

ここで紹介する肖像画は、江戸時代の豪商、笹屋の山中家歴代の肖像画である。笹屋は、本郷四丁目（現在の文京区）に1711年（正徳元）から店を構えていた商家であり、光明膏という目薬が有名であった。江戸の豪商と呼ぶにふさわしく、1837年（天保8）には千両の御用金を上納した記録が残されている。本郷に移住してきて約100年が経とうとしていた笹屋は、その歴史を伝える先祖達の肖像画を画家に依頼したのでろう。

現存する笹屋の肖像画は初代新五郎速成から七代新五郎智章までであり、当館は二代真隆安積、三代真隆恭春・六代新五郎智豊・七代新五郎智章の計4点の山中家の肖像画を所蔵している。

笹屋の紋付羽織に帯刀し、東晋（317〜420）時代の道教経典『黄庭経』を右手に持つ二代真隆安積の肖像画は顔に陰影を施し写実的な容貌に描かれている。三代真隆恭春の肖像画

は、太い輪郭線で描かれた大きい目鼻立ちと筆力が感じられる太い眉毛が特徴的に描かれ、『太平御覧』を両手で持つている。そして六代新五郎智豊の肖像画は左手下に刀があり、紋服に襟を正し膝に扇子を立て謹厳そうな顔立ちで描かれている。各肖像画は日本の肖像画に最も多く用いられる斜め向きからとらえる側面像で、小さく描かれている手は、日本の肖像画の特徴である。

各肖像画には人物の名とそれぞれの没年が書添えられ、上部には勝田宣徳による賛が寄せられている。下部に「旦霞藤原秀英画」の署名があることから、肖像は藤原旦霞の手によるものであることが確認できる。肖像を描いた絵師、旦霞については不詳だが、同家初代・四代・五代の肖像を長谷川雪旦が描いていることから、雪旦ゆかりの絵師の可能性が考えられる。

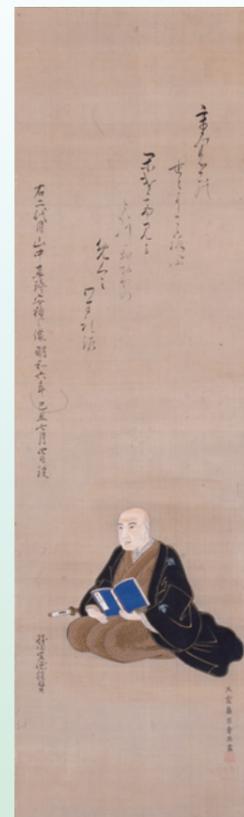
顔立ちを端正にし、着物を始め、身の回りの物まで理想的な形で描かれた笹屋の肖像画は、商家の肖像画が少ない中、江戸の豪商の代々の姿を知ることができる貴重な肖像画である。



6代 山中新五郎智豊
江戸時代後期
資料番号:14200003



3代 山中真隆恭春
江戸時代後期
資料番号:14200002



2代 山中真隆安積
江戸時代後期
資料番号:14200001

図書室から
LIVE REPORT

龍馬の手紙の本 あれこれ

坂本龍馬の本は続々と世に出ています。雑誌ではたびたび特集が生まれ、その人気のほどがうかがい知れます。図書室では、2010年（平成22）NHK大河ドラマ特別展「龍馬伝」に続いて、龍馬本再び！ 今回の特別展期間中も関連本を一堂に集め、ご覧いただけるようにします。

たとえば、展示の見どころのひとつである龍馬の手紙をテーマにしたものを紹介すると、『坂本龍馬関係文書1』（東京大学出版会・1967年覆刻）を筆頭に、『龍馬の手紙』（講談社・2003年）、『坂本龍馬 手紙にみる真実の姿』（アスキー・メディアワークス・2009年）、『これなら読める 龍馬からの手紙』（小学館・2010年）、『全書簡現代語訳 坂本龍馬からの手紙』（教育評論社・2014年）など。

観覧後に読んでみませんか？



お知らせ

その1 まもなく登場! ギボちゃんマスコット人形!!

ギボちゃんといつでも一緒!
当館公式キャラクターのギボちゃんが、とてもかわいいマスコットになって、いよいよ登場予定です! まもなく会えるよ!
カバンにつけてもちょうど良い大きさ、手触りもやさしく手元の癒しアイテムとしてもピッタリ!
1階と5階のミュージアムショップにて販売の予定です。
詳細はホームページ (<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>) をご覧ください。



江戸東京博物館
公式キャラクター
ギボちゃん

その2 調査研究の刊行物について

『東京都江戸東京博物館紀要 7号』、平成27年度のシンポジウム「隅田川流域を考えるー歴史と文化ー」をまとめた『調査研究報告書 第32集』、勝海舟関係資料をまとめた『勝海舟関係史料 海舟日記(六)』がまもなく刊行されます。1階のミュージアムショップで販売予定の他、7階の図書室でもご覧いただけます。

特別展「世界遺産登録記念 ル・コルビュジエと前川國男」
 会期：5月30日(火)～9月10日(日)
 2016年(平成28)、上野の国立西洋美術館が、東京初の世界文化遺産に登録されました。それを記念して、設計者のル・コルビュジエ、そして彼に直接学んだ前川國男の作品と建築観についての特別展を開催します。
 江戸東京たてもの園に移築されている前川國男邸をはじめ、東京文化会館、東京都美術館などの建物についても詳しく触れながら、ル・コルビュジエが日本にもたらした影響、前川國男が独自に切り開いた世界について考えます。

(研究員 米山勇)



前川國男邸
(江戸東京たてもの園)

江戸東京博物館分館
江戸東京たてもの園から



国立西洋美術館 ©国立西洋美術館

催し物のご案内 春期ふれあい体験教室

事前応募制教室

● 歴史散歩「木場～門前仲町へ 下町を歩く」

5月27日(土)
 荒天時は6月3日(土)に順延
 集合：13:00
 時間：13:15～16:00 対象：一般
 定員：20名 締切：5月13日(土)

● 歌舞伎の化粧をしてみよう(大人向け)

日時：6月3日(土)
 13:30～15:30
 対象：高校生以上
 定員：20名
 場所：1階 会議室
 締切：5月20日(土)



※講師/ふれあいボランティア ※いずれも参加料無料

お申し込み方法

往復はがきに住所・氏名(ふりがな 2名様まで)・年齢・電話番号・希望講座名を明記の上、下記へ(締切日消印有効)
 〒130-0015 東京都墨田区横綱1-4-1
 江戸東京博物館 ボランティア事務局 ふれあい体験教室係

当日受付教室

● 和算パズル

4月1日(土)、6月3日(土)
 時間：各日13:00～15:30(受付終了15:00)
 対象：小4以上

● 反古紙で折る小物

4月1日(土)、6月3日(土)
 時間：各日13:00～15:30(受付終了15:00)
 対象：小学生以上

● 8枚羽のかざぐるまを作ろう

4月2日(日)
 時間：13:30～15:00
 対象：小学生以上(但し小3までは大人と一緒に)
 定員：先着30名

● 歌舞伎の鳴り物をならしてみよう

4月15日(土)、5月21日(日)
 時間：①12:00～12:30 ※各回とも時間内に
 ②14:00～14:30 お越しください。
 対象：幼児～一般

※場所の表記がない場合、常設展示室5階ミュージアム・ラボで開催。 ※いずれも参加料無料(常設展示室内で開催の教室は観覧券が必要)
 ※講師/ふれあいボランティア ※3階江戸東京ひろばで開催の教室は、荒天などによるひろば閉鎖時は中止となります。

● とぎめきキモノ体験

4月22日(土)
 時間：10:30～12:00(受付終了11:30)
 対象：3歳以上
 定員：25名程度

● 手描き風鈴を作ろう(両国にぎわい祭り)

4月29日(土・祝)
 時間：①10:30～11:15 (10:00より
 ②11:00～11:45 会場前で各回の
 ③11:30～12:15 整理券配布)
 対象：小3～中学生まで 定員：各回10名
 場所：3階 江戸東京ひろば 北側休憩所

● 祭り茶席(両国にぎわい祭り)

4月29日(土・祝)
 時間：①13:00～13:30 (12:00より
 ②13:45～14:15 会場前で各回の
 ③14:30～15:00 整理券配布)
 対象：一般 定員：各回13名
 場所：3階 江戸東京ひろば 北側休憩所

● 藍染のコースターをつくる (両国にぎわい祭り)

4月30日(日)
 時間：12:30～14:30
 (12:20より会場前で
 受付・整理券配布)
 対象：小学生以上
 定員：60名
 場所：3階 江戸東京ひろば
 北側休憩所

● 歴史散歩「広重の名所 江戸百景(両国)今昔」 (両国にぎわい祭り)

4月30日(日)
 時間：①10:30～11:30
 ②14:00～15:00
 (各回15分前より受付)
 対象：一般 定員：各回20名
 場所：3階 江戸東京ひろば
 北側休憩所(看板あり)

● リリアンクラフト

5月20日(土)
 時間：13:30～15:00
 対象：小学生以上
 (但し小3までは大人と一緒に)
 定員：30名

● 万華鏡で遊ぼう

6月10日(土)
 時間：10:30～12:00
 対象：小3以上 定員：15名

● ぼち袋を摺ろう

6月18日(日)
 時間：10:30～12:30
 対象：小学生以上
 定員：30名



ミュージアムトーク

高度経済成長期の東京 4月7日、14日	江戸の四季と盛り場 4月21日、28日	江戸城と町割り 5月5日、12日	市民文化と娯楽 5月19日、26日	江戸から東京へ 6月2日、9日	関東大震災 6月16日、23日	文明開化東京 6月30日
------------------------	------------------------	---------------------	----------------------	--------------------	--------------------	-----------------

常設展示室の見どころを学芸員が解説します。 日時/毎週金曜日 16:00から 常設展示室5階の日本橋下までお集まりください。 所要時間は約30分です。

「江戸東京博物館NEWS Vol.96」3ページに掲載した「葵牡丹紋付唐織油単」の画像が誤っておりましてことをお詫び申し上げます。

表紙解説



北辰一刀流長刀兵法目録 龍馬宛 千葉定吉筆(部分)
 安政5年(1858)
 高知・創造広場「アクトランド」龍馬歴史館蔵

龍馬が安政年間(江戸)でおこなった剣術などの修業の様子を伝える貴重な資料。桶町千葉道場の千葉定吉から安政5年正月に発行された長刀の目録(免許)です。

刀 銘吉行 坂本龍馬佩用

江戸時代(17～18世紀) 京都国立博物館蔵

龍馬が所持し、京都近江屋で暗殺された際に敵刃を受けた刀。最新の研究成果によってこの事実が確認されました。

江戸東京博物館 NEWS Vol.97

お問い合わせ 03-3626-9974(代表) ホームページ <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

来館のご案内

JR総武線「両国駅」西口から徒歩3分、東口から徒歩7分
 都営地下鉄大江戸線「両国駅(江戸東京博物館前)」A3・A4出口から徒歩1分
 都バス錦27・両28・門33系統 墨田区内循環バス南部ルート「都営両国駅前(江戸東京博物館前)」下車、徒歩3分

発行日 2017年(平成29)3月24日(金)

編集・発行 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館 〒130-0015 東京都墨田区横綱1-4-1
 印刷・制作 株式会社恒陽社印刷所